

# 化学療法を受ける患者さんとご家族へ

抗がん薬は、がんに対する効果があるだけでなく、正常な細胞にも作用してしまうため、副作用が起こってきます。そのため、治療を受ける患者さんだけでなく、ご家族や抗がん剤を取り扱う医療スタッフにも作用してしまう可能性があります。

抗がん薬は、体外に排泄されるまで平均 48 時間かかると言われています。そこで、治療中および終了後 48 時間は尿や便の取り扱いに注意をする必要があります。

私たち医療スタッフは抗がん薬を取り扱う際は、  
手袋やエプロンを着用します。

## 注意をする期間

○月○日～○月×日（治療中～治療後 2 日間）

## 排泄時の注意点



排尿時は、尿が飛び散らないように、  
男性の方も座って排尿しましょう



排泄後は、ふたを閉めて、2 回流しましょう



排泄後は、  
流水と石鹸でしっかり手を洗いましょう



尿がこぼれた場合は、  
トイレットペーパーできれいに拭きとって、  
トイレに流しましょう。

## ご家族が排泄物（尿・便）、嘔吐物を取り扱う場合の注意点



ご家族が尿や便、嘔吐物の取り扱いやストーマ用品の交換を行う場合は、手袋をして取り扱きましょう。

その後は、流水と石鹸でしっかり手洗いをしましょう。

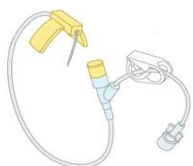


使用後のおむつやストーマ用品は、2重にしたビニール袋に入れて、密閉して捨てましょう。



吐物などで汚染した洗濯物は、2度洗いしよう。1度目のみは手袋をして、取り扱しましょう。

## 自宅での抗がん薬治療の注意点



自宅で持続注入などの抗がん薬治療を受けられる患者さんは、針、ポンプなどは、医療用廃棄物になりますので、専用の容器に入れて病院にお持ちください。



内服抗がん薬で治療中の患者さんは、服薬時はできるだけお薬に直接ふれないようにして内服しましょう。

ご家族が服薬をお手伝いする場合は、手袋をはめてお手伝いください。

服薬後は、手洗いをしましょう。

